

野川第一調節池（野川）

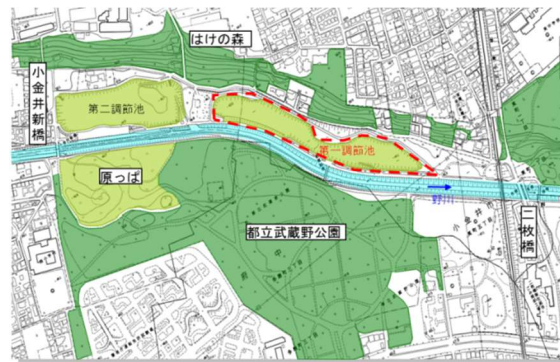
施設概要

野川第一調節池は、小金井市内の国分寺崖線と武蔵野公園に挟まれた空間に位置し、野川の治水安全度向上を目的として、昭和58年度に整備されました。

野川第一調節池は掘込式の調節池で、野川の水位が上昇した際には、洪水は越流堤を超えて調節池へ流入し、川の水位が低下すると排水ゲートから自然排水される仕組みとなっています。

また本調節池は、都市化された中の数少ない自然環境に恵まれている一方、周辺地域では市街化に伴い、身近な里地里山が失われつつあることから、隣接する野川第二調節池（平成元年度完成）とともに、自然再生推進法に基づく自然再生事業の対象地区にもなっています。

洪水調節機能を持ちながら、自然再生事業によって田んぼや池、湿地等を再生し、多様な生きものの生息・生育空間や、人と自然とがふれあえる場を提供しており、多くの市民の憩いの場としても親しまれています。



野川第一調節池の位置図



野川第一調節池（西側、写真右奥に見えるのが越流堤）



野川第一調節池（東側）

施設諸元

位置	小金井市東町五丁目
完成年度	昭和58年度
施設形式	掘込式
敷地面積(m ²)	14,800m ²
貯留量(m ³)	21,000m ³
越流堤延長(m)	70.0m

位置図



調節池位置のQRコード

